

温篤新聞

通巻183号



『日本の医療が変わる!!かも…』

この新聞が皆様の手元に届いている頃には、立憲民主党代表が決定した頃で、その後自民党総裁も決定した頃でしょうか。

そして、自民党新総裁が決まり看板を付け替えた事で、まだ中身は何も変わっていないのに、世間は新しい自民党に期待し、御祝儀相場で支持率が高まったならば、早期に解散し、野党第一党の新しくなった立憲民主党と政権与党を決める総選挙が行われるかもしれません。

特に今回の選挙は、政権与党を決めるだけでなく、自民党における裏金問題の対策としての

政治資金規正法の改正の審判が問われる選挙でもあります。

先日の改正の内容は、政治資金パーティーの記載金額を20万円以上を5万円以上の記載にしました。これで闇献金は無くなるのかと思いたいですが、1994年の竹下登のリクルート事件の時も問題になり、100万円だった記載が今の20万円になりましたが、結局は小口に分けた献金になっただけで、今もなお続いていた事を思うと、今回もより小口になるだけで解決にはならないように思います。

それ以上に、個人への企業献金を禁止にした代わりに、年間300

医食同源 ボラ

胃腸を強くし、消化を助ける作用があります。胃腸が弱く、下痢が長く続く人や、胃のもたれ、食欲不振の人にお勧めです。また身体を温め、衰弱を回復させる効果が期待できます。

ボラの卵巣からできた「からすみ」は、酒毒を消す効果があり、滋養強壯の食品としても珍重されます。



今月のツボ 関元俞(かんげんゆ)

腰にあるツボです。第5腰椎から左右両側へ指幅2本分離れたところにあります。

他のツボを基準にするとすれば、大腸俞の下の辺りで、臀部の平らな骨である仙骨の上の方を目安として



探し易くなります。

腰の症状に効果があるツボで、腰の痛みやだるさ、痺れなどを和らげます。その他、急性および慢性の下痢、冷え性や月経痛などといった婦人科系の疾患にも用いられます。

億円の政党交付金が税金からもらえるようにしたのに、個人で作った政党支部経由であれば、今までと同じように個人で企業献金を受け取れる仕組みを作っており、2重で収入を得ていたのです。

また使用目的が非公開だった制作活動費を、大まかな項目と年月の公開、領収書を10年後に公開と改正されましたが、大まかな項目だけで、誰が何にいくら使用したという細かな情報は開示されません。時効が3年の政治資金を10年後に公開する意味がどこにあるのか甚だ疑問です。

そして、政治家と企業の癒着の原因である企業・団体献金に関しては、何ら変更はなく継続です。第三者機関からのチェックは検討のみで終了してしまいました。

これでも構わないし、政治にお金がかかるのは当然でしょうという意見も一

つですが、これらの改正に疑問を呈し、新政権を担った党主が、もし政治資金を全面禁止としたならば、自民党に毎年トップクラスの政治資金を払っている日本医師会は献金することが出来なくなり医師会側の意に沿った医療が出来なくなり、国民側に寄り添った政策に転換されるかもしれません。もしかししたら保険診療費が下がるかもしれないし、薬を処方すればするほど検査をすればするほど儲かる保険点数制度が変わるかもしれないし、未然に病気を防ぐ研究に力を入れて医療費の削減になる方向に進むかもしれません。

一人一人が真剣に考え、自分たちの意見に合った政策を謳う政党に投票する事で、これからの未来が変えられるはず。何故なら我々には投票という権利を持っているのですから。



二十四節気と七十二候

「くらしのこよみ」より

日本には美しい四季があります。春、夏、秋、冬…折々の豊かな表情は日々の生活に彩りを与えます。日本人は昔から季節感を大切にして暮らしの中に取り入れてきました。

その抛り所となったのが、『二十四節気』です。地球から見た太陽の通り道「黄道」三六〇度を十五度ずつ二十四に区切り、その一つ一つに節気を配して四季の移り変わりを表したものです。一つの節気は十五日程度になります。

また二十四節気の一つ一つをさらに三区分し、季節の風物を言葉で表現したものが『七十二候』です。こちらはだいたい五日単位で、その季節の特徴的な自然現象を意味する名前が付けられています。

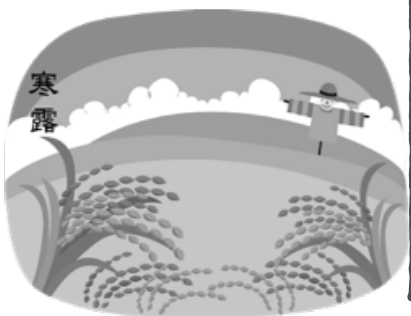
二十四節気

寒露

(10月8日)

朝晩の冷え込みがハッキリと感じられるようになります。明け方、草や葉に宿る露に触れて、思いがけない冷たさに驚いたことはありませんか。

秋は確実に深まっているのです。



『長所の発見が成長の「コツ」』

「奇跡の人」として知られるアメリカの社会福祉事業家ヘレン・ケラーは「顔を太陽に向けていけば影を見る事はできない」という言葉を残しています。

私たちには、それぞれ長所もあれば短所もあります。光は長所で、影の部分は短所というように置き換えてみましょう。光の部分だけを見るように心がけていると、影の部分を見る必要はなくなってきました。

このように、長所を引き出し、伸ばしていく事によって、お互いにプラスになり、成長していく事ができます。そして、そこに喜びと感謝の心が備わっていく事により、人間として大きく成長していけるのではないのでしょうか。

「一日一話」より

七十二候 (10月13日～17日頃)

菊花開(きくのはなひらく)

各地で菊の品評会や菊まつりが開かれる頃です。

旧暦の9月9日は重陽の節句です。別名「菊の節句」といい、中国ではこの日、菊の花を浸した菊花酒で不老長寿を祝う習慣がありました。それが平安時代に日本に伝わり、宮中では高貴な人々が菊花酒を飲みながら歌を詠み花を競う「菊合わせ」を楽しみました。

菊の花に真綿を被せて夜露と香りを移しとる「被綿(キセワタ)」という風雅な習わしも知られています。

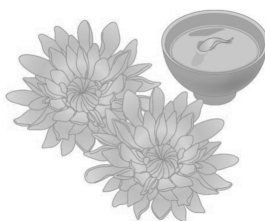
旬のくだもの

柘榴(ザクロ)

古来、世界各地で豊饒や多産の象徴とされ、神話や聖書、古典文学にも度々登場してきました。

日本では鬼子母神が持つ吉祥果として知られています。人間の子供をさらって食らっていた鬼神が改心して子育ての神様となり、以後、人肉の代わりに柘榴を食べるようになったといわれています。

ガラスのように光る深紅の果肉は血を連想させますが、赤い色の元となっているアントシアニンやタンニンには抗酸化作用があり、生活習慣病の予防などの効果が期待されています。



○印はお休みです

10月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

執筆余話

ようやく新聞の原稿作りが終わろうとする中、自民党に激震なニュースが飛び込んで来ました。

2013年の参議院選挙の際に、安倍元総理が、旧統一教会の会長らと総裁応接室で面談していたと報じられました。その際、自民党候補者の支援を確認したというのです。

1992年の霊感商法で問題になった時に、金輪際関わりは持たないと宣言していたにも関わらず、自民党と旧統一教会は組織的な繋がりがあるといふ内容で、これに新総裁の対応が注目となります。

面談に同席していた安倍元総理は亡くなられていますし、弟の岸氏は引退して病氣療養中で、残る一人の萩生田氏は、現職の国会議員というだけでなく、裏金議員にも関わらず甘い処分で切り抜けた人物です。

また上手い事言って乗り切ってしまうのでしょうか。

